平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	資源物回収報奨金事業	担当課	生活環境課	
総合計画	政策	安全・安心に暮らせるまち	計画期間	平成 3年度～
	施策	循環型社会の形成	種別	任意的事務
	基本事業	再資源化への取組	市民協働	補助事業
予算科目コード	01-040201-07 単独	根拠法令・条例等	資源の有効な利用の促進に関する法律 守谷市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成3年に、ごみの減量化と限りある資源の有効利用を促進し、市民の意識高揚を図ることを目的として開始した。	年度内に3回以上資源物を回収した団体に対し、回収重量1kgにつき5円の報奨金を交付し、ごみの減量化と資源の有効利用を促進する。 回収を行おうとする団体は、年度当初の届出書提出と、回収した資源物を回収業者に売却した際に発行される計量証明書を添えた実績報告書を提出することにより、実績に応じた報奨金が交付される。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
団体自ら資源物の集団回収を実践してもらうことでリサイクルの推進を図るとともに、もってごみの減量につなげる。	
（参考）基本事業の目指す姿	
家庭・事業者から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを減量する。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

前年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（今年度の振り返り）	
前年度の評価（課題）	今年度の取組（評価、課題への対応）
子供の数が減少しているため、活動が困難になってしまっている団体がある。	区長業務説明会，廃棄物減量等推進委員会会議，広報紙・HP等を通じ事業紹介や集団回収参加の呼びかけを行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（H33）
報奨金交付団体数（団体）	55.00	57.00	57.00	58.00	58.00
回収した資源物量（トン）	1,018.00	984.00	909.00	1,200.00	1,200.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	参加団体数，資源物回収量ともに横ばいになっているが，これは，新規団体もあるものの子供の減少に伴う団体統合や活動の停滞化が原因として考えられる。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☐ 改善・効率化 ☒ 統合 ☐ 廃止・終了	リサイクルを推進する上で，市民中心の活動は，意識を高揚するためにも必要不可欠であり，今後も行政が支援する必要がある。廃棄物の減量のための事業である「廃棄物減量等啓発事業」に「リサイクル伝言板事業」，「生ごみ処理機等補助事業」とともに統合し，事業に弾力性を持たせ事務の軽減を図る。			

コストの推移						
項目		H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算	H29年度予算	H30年度見込
事業費	計	5,089	4,922	4,545	0	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,089	4,922	4,545	0	0
正職員人工数（時間数）		0.00	0.00	100.00	0.00	0.00
正職員人件費		0	0	410	0	0
トータルコスト		5,089	4,922	4,955	0	0